

## 第4章 届出外データをもとにした集計結果の概要

### 4 - 1 届出外のデータ

届出外データとは経済産業省及び環境省は共同で、本法の届出義務対象外の排出源（届出外事業所、自動車等、家庭）等からの排出量を推計して集計し、届出データと併せて公表したもので、次に示すものである。

対象業種を営む事業者からの排出量のうち届出がなされていないもの  
従業員20人以下の事業所  
年間取扱量が1ト未満（当初2年間は5ト未満）の事業所  
対象業種以外の業種のみを営む事業者からの排出量  
農薬、接着剤、塗料、洗浄剤、医薬品、漁網防汚剤  
移動体（自動車、船舶、鉄道、航空機）からの排出量  
家庭からの排出量  
農薬、接着剤、塗料、洗浄剤、化粧品、防虫剤、消臭剤

本報告書では、とを届出対象外事業所として一括して扱い、移動体、家庭の3分類でその排出量を以下にまとめた。

### 4 - 2 届出対象外事業所からの排出

推計された届出対象外事業所の物質別（排出量上位10物質＋その他）の排出量と構成比を表4 - 1、図4 - 1に示す。

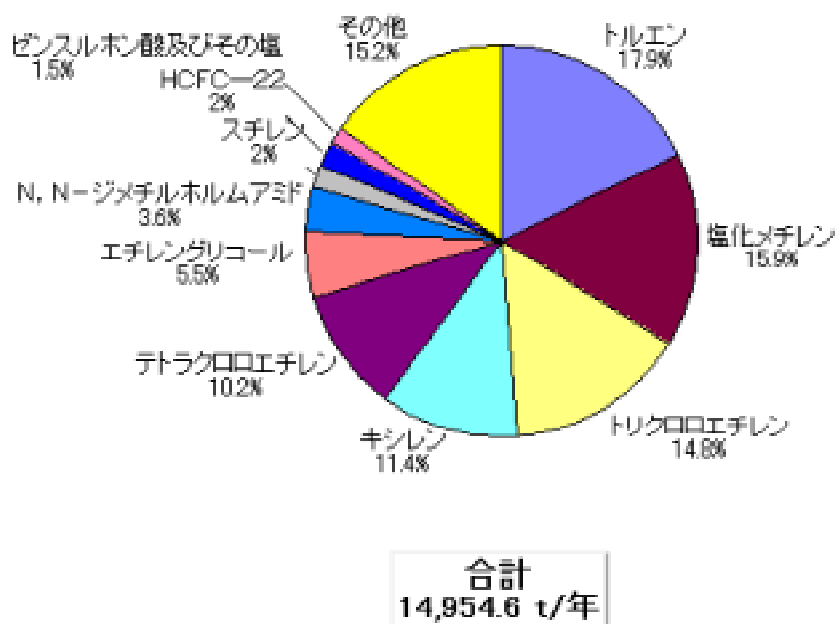
また、個々の対象化学物質について届出事業所との比較表を資料編に掲載した。

トルエン、塩化メチレン、キシレンなど有機化学物質が上位を占めていたが、オゾン層破壊物質であるクロロジフルオロメタン（別名 HCFC-22）が10位にランクされているのが特徴となっている

表 4 - 1 届出対象外事業所の物質別（排出量 上位 10 物質 + その他）の排出量と構成比

物質番号	物質名(上位10物質)	排出量(t/年)	構成比(%)
227	トルエン	2,679.8	17.92%
145	ジクロロメタン(別名塩化メチレン)	2,373.7	15.87%
211	トリクロロエチレン	2,209.0	14.77%
63	キシレン	1,702.5	11.38%
200	テトラクロロエチレン	1,527.4	10.21%
43	エチレングリコール	823.0	5.5%
172	N, N - ジメチルホルムアミド	544.3	3.64%
177	スチレン	301.8	2.02%
85	クロロジフルオロメタン(別名HCFC 22)	296.3	1.98%
24	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る。)	229.9	1.54%
上記以外の対象化学物質		2,267.0	15.16%
合計		14,954.6	

図 4 - 1 届出対象外事業所の物質別（排出量 上位 10 物質 + その他）の構成比



#### 4 - 3 移動発生源からの排出

推計された移動発生源からの物質別（12物質）の排出量と構成比を表4-2、表4-3、図4-2に示す。本県の排出量の全国比は3.81%となった。

排出される対象物質化学物質としてホルムアルデヒドが最も多く、次いでトルエン、キシレン、ベンゼン、アルデヒドの順となっていた。

また、カ-エアコンの冷媒に使用されているジクロロジフルオロメタンの排出が移動発生源からの排出物質としてあげられているのが特徴となっている。

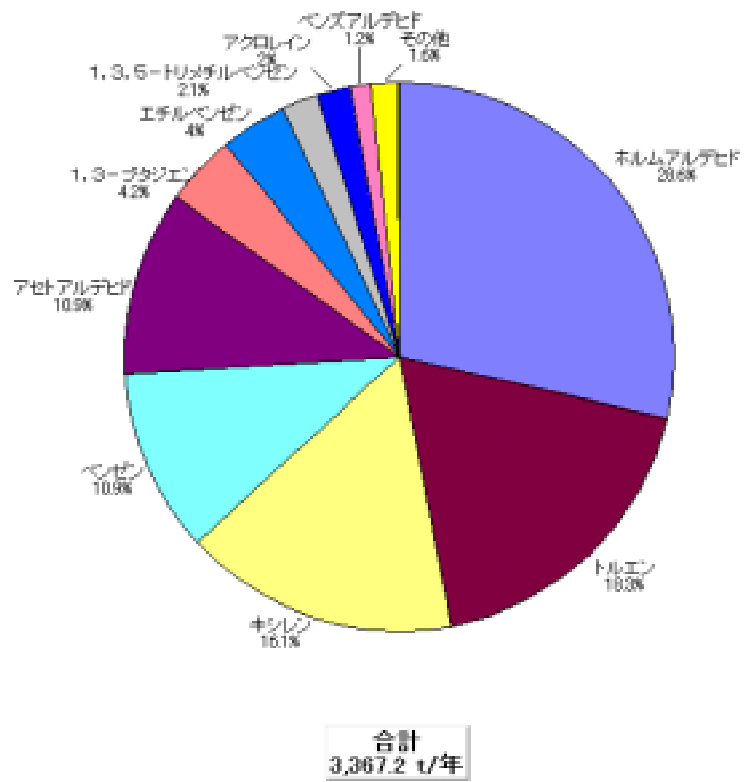
表4-2 移動発生源の物質別（排出量上位10物質+その他）の排出量と構成比

物質番号	物質名(上位10物質)	排出量(t/年)	構成比(%)
310	ホルムアルデヒド	962.7	28.59%
227	トルエン	617.5	18.34%
63	キシレン	543.5	16.14%
299	ベンゼン	366.2	10.88%
11	アセトアルデヒド	365.4	10.85%
268	1,3-ブタジエン	141.6	4.21%
40	エチルベンゼン	135.8	4.03%
224	1,3,5-トリメチルベンゼン	70.8	2.1%
8	アクロレイン	68.1	2.02%
298	ベンズアルデヒド	41.0	1.22%
上記以外の対象化学物質		54.5	1.62%
合計		3,367.2	

表4-3 移動発生源の物質別の排出量と発生源別構成比、全国比

推計物質		移動体からの排出量(kg/年)	構成比(%)						全国排出量(kg/年)	全国比
物質番号	物質名		自動車	二輪車	特別自動車	鉄道	航空機	船舶		
8	アクロレイン	68,127	82.78%	3.71%	13.41%	0.0%	0.0%	0.11%	1,765,416	3.86%
11	アセトアルデヒド	365,353	82.13%	2.34%	13.0%	0.14%	0.08%	2.31%	9,551,976	3.82%
40	エチルベンゼン	135,804	51.45%	35.86%	10.08%	0.09%	0.0%	2.52%	3,546,080	3.83%
63	キシレン	543,548	51.69%	38.82%	6.77%	0.09%	0.03%	2.61%	14,205,856	3.83%
121	ジクロロジフルオロメタン(別名CFC12)	37,244	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1,064,762	3.5%
177	スチレン	17,238	34.44%	51.26%	12.88%	0.0%	0.0%	1.43%	451,290	3.82%
179	ダイオキシン類	66	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1,590	4.12%
224	1,3,5-トリメチルベンゼン	70,849	68.53%	23.16%	7.66%	0.0%	0.0%	0.65%	1,867,297	3.79%
227	トルエン	617,490	36.73%	53.12%	7.57%	0.06%	0.02%	2.5%	16,079,758	3.84%
268	1,3-ブタジエン	141,606	70.13%	10.96%	12.24%	0.35%	0.23%	6.09%	3,761,850	3.76%
298	ベンズアルデヒド	40,960	64.96%	24.35%	10.01%	0.0%	0.0%	0.68%	1,066,655	3.84%
299	ベンゼン	366,219	62.02%	26.54%	8.23%	0.14%	0.1%	2.99%	9,694,425	3.78%
310	ホルムアルデヒド	962,726	81.55%	2.41%	13.25%	0.16%	0.02%	2.62%	25,206,731	3.82%
計		3,367,231							88,263,707	3.81%

図 4 - 2 移動発生源の物質別（排出量上位 10 物質 + その他）の排出量と構成比



#### 4 - 4 家庭からの排出

推計された家庭からの物質別（排出量上位10物質+その他）の排出量と構成比を表4-4、図4-3に示す。

排出される対象物質化学物質としてP-ジクロロベンゼンが最も多く、クロロジフルオロメタンなどのオゾン層破壊物質、いわゆるフロン類の4物質がランク入りしているのが家庭からの排出物質として特徴づけられている。

家庭における推計物質数と物質別排出量及び届出事業所データとの比較を資料編に掲載した。

表4-4 家庭・オフィスの物質別（排出量上位10物質+その他）の排出量と構成比

物質番号	物質名(上位10物質)	排出量(t/年)	構成比(%)
140	p-ジクロロベンゼン	877.8	43.45%
24	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る。)	490.4	24.27%
307	ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る。)	309.1	15.3%
63	キシレン	75.8	3.75%
40	エチルベンゼン	59.7	2.95%
132	1,1-ジクロロ-1-フルオロエタン(別名HCFC 141b)	33.8	1.67%
85	クロロジフルオロメタン(別名HCFC 22)	32.3	1.6%
166	N,N-ジメチルドデシルアミン=N-オキシド	31.1	1.54%
217	トリクロロフルオロメタン(別名CFC-11)	24.7	1.22%
84	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(別名HCFC 142b)	21.7	1.07%
	上記以外の対象化学物質	64.0	3.17%
	合計	2,020.3	

図4-3 家庭からの物質別（排出量上位10物質+その他）の構成比

